

令和8年度湯浅町社会教育基本方針

令和8年4月
湯浅町教育委員会

I. 方針の位置付け

本方針は、「第四次湯浅町長期総合計画」が掲げる社会を実現するために、本町の自然、歴史、文化、芸術の多様性を最大限に活かしながら、町民一人一人が学習やスポーツによる交流を通して自己を磨き、豊かな人生を実現する生涯学習を推進するための基本となる方針である。

令和6年度、「生涯学習町民アンケート調査」を実施し、その結果を基に本町社会教育委員会会議での意見を踏まえ、今後の本町の生涯学習のあり方、社会教育施策等の方向性を示すものである。

II. テーマ

「つながろう湯浅！」

～歴史と人の温もりで支え合う地域社会の実現をめざす社会教育の推進～

◇テーマの背景

近年、医学の進歩、生活環境の向上等により、平均寿命が著しく向上し、「人生100年時代」が到来しようとしている。健康で心豊かな生活を送り、生きがいを持って社会で活躍しながら生きるために、生涯を通じての学びと活躍の場が求められる。

一方で、多くの地方自治体が人口減少問題に直面し、将来的な存続さえ危ぶまれる状況が生まれ、湯浅町でも喫緊の課題となっている。

日本社会が個を重視する社会に変化し、人々の生活スタイルが大きく変化するところに新型コロナウイルス感染症の影響で人と人がふれ合う機会も減少し、ますます地域コミュニティの希薄化も課題となっている。

このような課題がある中で、湯浅町の将来に向けた「地域づくり」は、行政の施策ではなく、町民自らの参画が重要であり、参画につながる町民の意識や行動の変容には社会教育の充実が欠かせないものである。子どもから高齢者に至る学びは社会性を育み、人と人のつながりが保たれた「地域づくり」に資するものである。そこで、町民のニーズに合った多様な学びの場を提供するとともに、町民一人一人が湯浅町に対し「私たちの町ふるさと」という心情を喚起し、活気ある地域づくりに積極的に貢献しようとする意識を持てるようにすることが必要である。町民が「いつでも、どこでも、誰でも」取り組める、学びを通じた「人づくり、地域づくり、絆づくり」に努めていくものとする。

◇現状

令和2年10月に完成した複合施設「湯浅えき蔵」に町立図書館が移転し、来館者数が令和6年10月に50万人を突破した。また、この施設で中央公民館事業を展開し、各種講座の開

設、生涯学習イベント等を開催し、多くの町民が集う学びの場、憩いの場として、「湯浅えき蔵」が本町における生涯学習の拠点としての機能を果たしつつある。

一方で、インターネットの急速な普及により、パソコンやスマートフォン、タブレットなどのICT機器を活用した活動が盛んとなり、インターネット上で生涯学習に取り組む町民が増加していることも事実であり、対面式の学習からオンライン上での個々の学習へと学習方法の変化も顕在化している。

私たちの生活様式に加え、生涯学習や地域コミュニティのあり方も大きく変化した社会情勢を踏まえ、すべての町民が生涯学習に親しむ環境整備を進めるため、本町における社会教育の振興に期するため、下表のとおり「生涯学習町民アンケート調査」を実施した。

(アンケート結果は参考資料として末尾に記載している。)

Ⅲ. 基本方針と基本施策

テーマ	基本方針	基本施策
つなごう湯浅！歴史と人の温もりで支え合う地域社会の実現をめざす社会教育の推進	1. 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	①地域学校協働活動の推進・拡充 ②青少年教育及び小・中学生の健全育成活動の推進 ③家庭教育の推進
	2. 生涯を通じた学びと社会参加の促進	①町民の社会参加の促進 ②町民のニーズに応じた多様な学びの場の提供 ③学習機会の拡充と内容の精選 ④文化活動の支援・充実
	3. 社会教育推進のための基盤整備	①社会教育推進体制の充実 ②社会教育関係職員の資質向上 ③社会教育関係団体の活動支援
	4. 社会教育における人権教育の充実	○社会教育の場における人権教育の推進
	5. 文化財・伝統文化保護の推進	①ふるさとの歴史や学びを伝える活動の充実 ②地域一体となって取り組む文化財の調査・保全 ③歴史や文化財の活かしたまちづくりへの連携協力
	6. 社会体育活動の推進	○町民の健康づくりとスポーツによる地域の活性化

基本方針 1 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成

未来を担う子どもたちが健やかに育ち、保護者が安心して子育てをするためには、「家庭教育」の充実が重要な役割を担う。本町では、家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」が0歳～15歳までの子どもがいる家庭の全戸訪問により、保護者の子育てに関する相談体制が構築されており、問題の早期発見・未然防止に努めている。

また、青少年期の多くが、学校教育の対象となる時期であり、本町では学校教育と連携しながら、「生涯における学びの場」を提供している。共働き家庭の増加に伴い、平日の放課後や休日に子どもが安心・安全に過ごせる居場所を提供する「放課後子ども教室推進事業」や「子ども会事業」、「えき蔵公民館事業」、「えき蔵図書館事業」の充実に努めているところである。

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を担い、お互いが共に学び、連携した取組を進めることで、子どもの健やかな育ちを支え、子どもから高齢者までのつながりを築くことができる体制づくりに努める。

基本施策① 地域学校協働活動の推進・拡充

- ・既存事業である子どもを対象とした事業を充実させ、子どもたちにとって有益な学びの場を提供する。(公民館事業・図書館事業 等)
- ・地域住民、学生等によるボランティア活動の推進に努め、子どもとのつながりを築く。
(各小学校区で実施する放課後子ども教室・YYルーム・サマーキャンプ 等)

放課後子ども教室 (YYルーム・わくわくチャレンジ・ランニング・コーラス・英会話)
各小学校区で開催する放課後子ども教室・公民館事業 (ダンス等各教室)・
サマーキャンプ・図書館事業 (おやこ集いの場・おはなし会) 等

基本施策② 青少年教育及び小・中学生の健全育成活動の推進

- ・あいさつ運動を推進する。
- ・子どもの読書活動を充実させるため、えき蔵図書館の資料の充実を図る。
- ・子ども会活動 (学習会・定例活動) の充実に努める。
- ・多様な体験活動の実施に努め、関係機関や各種団体との連携強化を図る。

(図書館事業) 読書記録帳を活かした子どもの読書活動の推進・POPコンテスト 等
(子ども会事業) 小中学生学習支援・子ども会定例会・子ども食堂・
他地方子ども会との交流 等
(青少年関係) 育成大会・夜間パトロール・花いっぱい運動・ふれあい標語 等

基本施策③ 家庭教育の推進

- ・子育てや家庭教育に関する学習機会を拡充する。

・PTA研修会への積極的参加の呼びかけ
・家庭教育に関する講演やイベント (すまいるランド 等)

基本方針 2 生涯を通じた学びと社会参加の促進

本町では人口減少や少子高齢化が進行し、65歳以上の高齢化率は37.9%（令和7年1月1日現在）となっている。また、核家族化の進行や地縁、血縁等の希薄化による地域での孤立などの課題に対して、町民が集い、顔と顔を合わせ、対話する場を提供していくことが大事だと考える。一方で、インターネットの急速な普及により、スマートフォンやパソコン、タブレットの活用で情報を得たり、学習したりする人が増加している。積極的にICT機器を活用して学習活動に取り組む人が現れる一方、それらを敬遠し、積極的に参加できない方もいるなど、両極化も生じている。

このような状況の中、えき蔵公民館を中心として、文化や芸術等、参加型事業の充実に努めるとともに、多くの町民がICT機器を活用できるよう支援し、効果的な情報発信に努める。

基本施策① 町民の社会参加の促進

- ・ 青少年をはじめとする町民対象の様々な学習活動、体験活動に地域住民が参画する体制を整備する。

基本施策② 町民のニーズに応じた多様な学びの場を提供

- ・ 公民館・教育集会所の事業を通して、町民同士の交流、親睦を図る。
- ・ 事業を通して、将来的に地域課題解決に向けて活躍できる人材を育成する。

基本施策③ 学習機会の拡充と内容の精選

- ・ 多くの町民が気軽に参加できるような学習を提供する。
- ・ 公民館事業では、個人の興味関心に基づく学習の充実とともに、持続可能な地域づくりにつながる学習機会も取り入れていく。

基本施策④ 文化活動の支援・充実

- ・ 湯浅町文化協会との連携を強化する。
- ・ 公民館事業や教育集会所事業を通じて、文化や芸術に親しむ事業を展開し、町民が集い、共に学び、つながる場を提供する。

各公民館講座・教育集会所事業・図書館における各種イベントの講座の精選・拡充

- ・ 図書館と公民館講座・歴史講座との連携（関連図書の展示 等）
 - ・ 公民館美術館巡り・音楽コンサート・ハッピージョイントコンサート・えき蔵フェス
 - ・ 図書館川柳コンテスト・公民館ICT講座・サマーキャンプ・文化祭・囲碁大会 等
- ⇒公民館等での学習の成果を披露する機会を創出することで、人と人のつながりを創る

基本方針3 社会教育推進のための基盤整備

社会教育は幅広く、子どもから高齢の方まで、様々な年代の方にかかわる分野であることから、社会教育委員会議を核として、社会教育に関する各部署間において定期的に協議を行い、情報共有を図っていく。また、各種研修会に積極的に参加し、職員の資質向上にと務める。

基本施策① 社会教育推進体制の充実

- ・令和4年度より社会教育委員を8名とし、定期的に会議を開催し、本町の社会教育の充実に向け、現状と課題について協議してきた。引き続き、会議の充実を図り、施策への反映を図る。
- ・各方面で活躍する個人や団体等との持続可能な協働体制を築くための関係づくりを進める。
- ・各種社会教育団体等と連携し、地域全体で生涯学習の推進を図る。

基本施策② 社会教育関係職員の資質向上

- ・各種研修会等への参加促進に努める。
- ・行政と関係機関・団体が連携・協働して地域住民の学習活動を支援するネットワークづくりに努める。

基本施策③ 社会教育関係団体の活動支援

- ・各団体の活動状況を把握し、目的達成に向けた支援に努める。

定期的な社会教育委員会議の開催、体育協会・文化協会等社会教育関係団体との連携
⇒ 社会教育のフィールドにおいて、地域の人・団体による「緩やかなネットワーク」を形成

基本方針4 社会教育における人権教育の充実

人と人が共につながることができる豊かな地域社会を築くために、お互いの人権が尊重される社会づくりが重要である。近年の人権問題は多様化、複雑化しており、インターネットやSNS上の人権侵害等も社会問題となっている。これらを解決するために、人権に関する正しい知識を持ち、相手の立場を理解することが大切で、そのために社会教育の場で以下の事業を行う。

基本施策 社会教育の場における人権教育の推進

点字教室の実施、各小学校で実施される保護者学級の実施、教育講演会の開催等を通じ、人権啓発・人権教育を推進する。

基本方針5 文化財・伝統文化保護の推進

令和8年は、湯浅町制施行130周年を迎えるとともに、醤油醸造の伝統を感じる家並みが残る一帯が重要伝統的建造物群保存地区に選定されてから20周年を迎える記念の年である。また、醤油醸造以外にも湯浅党、熊野古道といった様々な歴史があり、それらを伝える有形、無形の文化財が多様に現存している。これらの貴重な文化財を適切に保存・活用し、郷土の誇りとして地域住民と一体となって守っていくとともに、後世に引き継いでいく使命がある。さらに併せてそれを本町の魅力として町内外に発信していく必要がある。町内の歴史や文化財を広く深く知ってもらうため、町民歴史講座の開催や地域の子どもたちへの「ふるさと教育」を積極的に行うことで、郷土への誇りと愛着心を育む。

基本施策① ふるさとの歴史を学ぶ伝える活動の充実

- ・ 歴史的に価値のある文化財や伝統文化を郷土の誇りとして次世代へつないでいくために、町民歴史講座やふるさと教育等を通じて愛郷心を育む。
- ・ 学校教育と連携し、児童生徒がふるさとを知り、愛着と誇りを持ち、ふるさとに貢献できる子どもを育成する。

- ・ 町民文化講座・町民歴史講座の開催 ・ 地域人材を活用したふるさと学習の推進
- ・ えき蔵を活用したミニ歴史講座の連続開催
- ・ 小学生対象の手作り醤油づくり体験事業・小学生対象の歴史探検教室 等

基本施策② 地域一体となって取り組む文化財の調査・保全

- ・ 未指定等文化財の掘り起こしや、文化財の見守り活動を地域住民とともにやり、町民が私たちの郷土に誇りと愛着心を持つ。

- ・ 地域住民が取り組む美化・清掃活動の実施
- ・ 文化財指定等の推進、学術的調査への発展、成果の共有 等

基本施策③ 歴史や文化財を活かしたまちづくりへの連携協力

- ・ 重要伝統的建造物群保存地区を中心として、歴史や文化財を魅力の一つとして磨き上げ、首長部局や地域の関係団体が取り組むまちづくりと連携し、積極的に協力していく。

- 重伝建地区施設や文化財の公開・活用、日本遺産をはじめとした観光振興策との連携、積極的な情報発信 他

基本方針6 社会体育活動の推進

今回の町民アンケートにおいて、最も関心が高かったのが、「健康づくり」「スポーツ」であった。人生を豊かに送るためには、まずは健康であることが必須であり、個人個人で健康づくりに努めておられる方が多い。そこで、町民がいつでもどこでも気軽に楽しみ、満足感や充実感を得られるようなスポーツや健康づくりに取り組むことができる環境づくりに努めるものとする。

町内には、スポーツ振興の拠点となる湯浅城公園スポーツ施設や体育館、プール等の施設があり、利用者のニーズや時代背景にあったスポーツ振興が活発に行える施設の充実に努める。

また、湯浅町体育協会等各スポーツ団体との連携を強化し、スポーツ教室や各スポーツ大会等の支援と参加促進を図ることで、「生涯スポーツ」を推進する。

基本施策 町民の健康づくりとスポーツによる地域の活性化

- ・ 湯浅町体育協会との連携を強化する。
- ・ 地域スポーツの活動の場となる学校体育施設や公共スポーツ施設の有効活用・利用促進に努める。
- ・ 町民の健康や体力づくりに対する関心を高め、誰もが気軽に参加できるスポーツ事業を展開する。
- ・ 児童生徒対象のスポーツ事業を展開し、スポーツに親しむとともに、町内の児童生徒の交流を図る。
- ・ 各種スポーツイベントを通して地域の活性化を図る。
- ・ 各種競技の指導者を発掘・育成する。

(児童生徒) 市町村対抗ジュニア駅伝・ランニング教室・わくわくチャレンジ教室
アイススケート体験・各種スポーツ教室

(一般) 町マラソン大会・町民スポーツ大会・町民プール開放事業・各種スポーツ教室
公民館ウォーク・公民館エクササイズ・体育協会加盟団体の活動支援

【参考資料】生涯学習町民アンケート

項目	内容
調査目的	生涯学習に関する町民のニーズを把握し、今後の公民館事業・図書館事業・スポーツ事業等の充実を図るため
調査対象	町内在住の18歳以上の方700人を無作為抽出
調査期間	令和6年4月23日～令和6年5月31日
調査方法	郵送によるアンケートを送付し、郵送または二次元コードによる回収
回収状況	回収数：261（回収率：37.3%）

(1) アンケート調査の結果

【問1】あなたの年齢は？（○を1つ）

年代	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
回答数	14	29	29	43	54	72	17	3
送付数	70	80	100	120	120	140	70	
回収率	20.0%	36.3%	29.0%	35.8%	45.0%	51.4%	24.3%	

【問2】あなたのお住まいの小学校区は？（○を1つ）

湯浅小学校区	山田小学校区	田栖川小学校区 (栖原)	田栖川小学校区 (吉川)	田村小学校区	無回答
156	10	14	15	21	45

★「湯浅えき蔵」について

【問3】あなたは、湯浅町立図書館（えき蔵図書館）を利用したことがありますか？

（○を1つ）

よく利用したことがある	たまに利用したことがある	利用したことがない
38	90	133

図書館の利用者は、60代や子育て世代の利用が最も多く、18～29歳の利用者が少ない。

▼【問3】で「よく利用したことがある」「たまに利用したことがある」と回答された方に

【問4-1】図書館をどのくらいの頻度で利用しますか？（○を1つ）

年1回	年2～3回	2～3か月に1回	1か月に1回	1か月に2回以上
23	26	34	16	33

【問4 - 2】図書館を利用する目的は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1. 図書を借りるため	75
2. 図書、雑誌、新聞等の閲覧	46
3. 調べものをするため	27
4. 子どもの図書館利用の付き添い	34
5. 図書館で勉強や仕事をする	11
6. 読み聞かせ等イベントに参加	7
7. カフェを利用	18
8. その他	7

▼【問3】で「利用したことがない」と回答された方に

【問4 - 3】図書館を利用していない理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1. 本や雑誌は自分で購入するから	38
2. 図書館に行く必要性を感じない、興味がないから	27
3. 時間がないから	45
4. 利用手続きが面倒だから	3
5. どんな本があるか分からないから	8
6. その他	29

▼すべての方に

【問5】図書館に望むものは何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1. 必要な本がすぐに手に入る	114
2. 調べたいことについて気軽に聞くことができ、頼りになるスタッフがいる	78
3. 静かに読書できるスペースがある	77
4. 学習するスペースがたくさんある	40
5. 朝早くから夜遅くまで開館している	50
6. 参加したい催し物が行われている	46
7. 図書館に行かなくても本を借りることのできるサービスがある（電子書籍 等）	25
8. カフェが常時開いている	45
9. ゆっくりと滞在することができる	99
10. その他	13

【問6】えき蔵公民館講座やイベントに参加したことがありますか？（○を1つ）

参加したことがある	参加したことがない	知らない	無回答
71	137	52	1

★スポーツや運動（健康づくり）について

【問7】スポーツや運動を行っている頻度はどのくらいですか（○を1つ）

週3回以上	週1～2回	月1～3回程度	していない	無回答
37	56	29	137	2

▼【問7】で「している」と回答された方に

【問8-1】スポーツや運動を行う理由（目的）は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1. 健康維持のため	105
2. 体力・筋力の維持・増進	81
3. ストレス解消のため	43
4. 友人・仲間との交流	39
5. 参加しやすいクラブがある	11
6. 自己の記録や能力を向上させたいから	6
7. その他	5

▼【問7】で「していない」と回答された方に

【問8-2】スポーツや運動をしていない理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1. きっかけがないから	46
2. 仕事等で時間がないから	69
3. ストレス解消のため	21
4. 行事・イベントがないから	4
5. 仲間がいないから	14
6. 体調不良、病気のため	27
7. 運動が苦手だから	35
8. その他	3

▼すべての方に

【問9】湯浅町内の公共スポーツ施設を利用したことがありますか？（○を1つ）

ある	たまにある	ほとんどない	無回答
53	26	176	6

【問10】湯浅町のスポーツの推進に向けて、町にどのようなことを期待しますか？

（あてはまるものすべてに○）

1. 各種行事の開催・充実	146
2. 情報の提供	129
3. 指導者の育成	69
4. 障がい者スポーツ活動の推進	27
5. その他	18

★個人の生涯学習の実施について

【問 11】 あなたはこの1年間どのような学習をしましたか？

(あてはまるものすべてに○)

① 学習の内容について

1. 芸術的なもの（音楽・美術・書道など）	39
2. 教養的なもの（文学・歴史・文化財・人の生き方など）	37
3. 健康づくり（スポーツ・健康・栄養など）	57
4. 子育て・教育に関するもの（家庭教育・子育て委支援など）	30
5. 社会的課題に関するもの（地域問題・人権問題・環境問題・時事問題など）	32
6. 職業的なもの（仕事に関する知識や技術など）	48
7. ボランティア活動	21
8. その他	1
9. していない	105

▼【問 11-①】で「1～8」のどれかに回答された方に

② 形態について

1. 公民館等公共施設における県や町の講座や教室	50
2. カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室	19
3. 学校（高校、専門学校、大学等）の正規課程、公開講座や教室	13
4. 職場の教育、研修	29
5. 同好者が自主的に行っている文化・サークル活動	26
6. オンライン配信による講座	14
7. 自宅で本を読んだり、テレビ等の教育番組を利用したりして	67
8. その他	8

③ 場所について

1. 図書館・公民館・体育館などの社会教育・体育施設	55
2. 学校施設	14
3. その他の公共施設	44
4. 民間のカルチャーセンター等	10
5. 自宅での学習活動（通信教育や書籍など）	44
6. 自宅でのオンライン講座など	18
7. その他	20

【問 12】 あなたは「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を活かしていますか？

(どちらかに○)

活かしている	活かしていない
99	61

▼【問 12】で「活かしている」と回答された方に

【問 13】あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験をどのように活かしていますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 自分の人生を豊かに充実させるため	54
2. ボランティアや地域活動	19
3. 仕事や就職・転職の上で	38
4. 家庭生活や日常生活に	34
5. 子育てや次世代の子どものため	14
6. 自分の健康の維持・増進に	38
7. 仲間づくり・親睦のため	32
8. 他の人の指導に	9
9. その他	2

▼すべての方に

【問 14】あなたはこの1年間で町内の社会教育施設（公民館・図書館・公共体育館・スポーツ施設等）を利用しましたか？（どちらかに○）

利用した	利用しなかった	無回答
125	126	10

▼【問 14】で「利用した」と回答された方に

【問 15】あなたはどのような活動で町内の社会教育施設を利用しましたか？（あてはまるものすべてに○）

1. 文化祭などの行事に参加した	37
2. その施設の主催事業や教室・講座などに参加した	30
3. 自治体関係団体、スポーツ教室や団体の集会場所や会議室として利用した	21
4. 趣味のグループやサークル活動の場として利用した	20
5. 作品などを鑑賞した（映画・音楽・演奏会・絵画・写真など）	40
6. 図書の貸出、読書や閲覧	68
7. 子育てのための講座やイベントへの参加	10
8. その他	9

▼すべての方に

【問 16】あなたは今後、湯浅町が行う「生涯学習」の講座・教室等に参加したいと思いますか？（○を1つ）

参加したい	できれば参加したい	参加したくない	無回答
41	146	58	16

★「地域とのかかわり」について

【問 17】 あなたはお住まいの地域に対してどのように感じていますか？（○を1つ）

① 地域に愛着がある

そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答
106	97	35	5	9	9

② 地域の人と積極的に交流したい

そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答
54	97	69	10	17	14

③ 地域のために役立ちたい

そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	無回答
62	100	59	11	9	20

【問 18】 あなたの知識や経験、学習の成果をボランティア活動や地域社会の発展のために活かしたいと思えますか？（○を1つ）

1. すでに活かしている	25
2. 活かしたいが今はできていない	92
3. 特に活かしたいと思わない	37
4. 分からない	94
5. 無回答	13

▼【問 18】 で1・2と回答された方に

【問 19】 あなたの知識や経験、学習の成果を地域や社会でのどのような活動で活かしたと思えますか？（あてはまるものすべてに○）

1. スポーツ	19
2. 健康体操・ヨガなどの健康づくりに係る活動	21
3. 地域の子どものための自然体験活動や体験教室	22
4. 美術・音楽・書道などの芸術的活動	18
5. 障がいのある方や高齢者などの支援に関する活動	27
6. 地域の環境保全に関する活動	19
7. 防犯・防災に関する活動	20
8. 地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	27

9. 子育て・育児を支援する活動	30
10. 学校の環境整備や教育活動を支援する活動	16
11. 地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	29
12. その他	4
13. 特になし	17

▼すべての方に

★湯浅町の社会教育の充実に向けて

【問 20】あなたはどのような教室、講座、展示等があれば社会教育施設を利用したいと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 芸術的なもの（音楽・美術・書道など）	87
2. 教養的なもの（文学・歴史・文化財・人の生き方など）	74
3. 健康づくり（スポーツ・健康・栄養など）	130
4. 子育て・教育に関するもの（家庭教育・子育て支援など）	48
5. 社会的課題に関するもの（地域問題・人権問題・環境問題・時事問題など）	37
6. 職業的なもの（仕事に関する知識や技術など）	62
7. ボランティア活動に必要な知識や技能に関するもの（手話・介護など）	45
8. その他	12

【問 21】あなたは、今後「生涯学習」をもっと盛んにしていくため、湯浅町はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

1. 施設などにおけるサービスを充実させること	127
2. 専門職員（社会教育主事・体育指導者等）を育成し、配置すること	76
3. 生涯学習を支援する地域の人事を育成すること	75
4. 生涯学習に関する情報を得やすくすること	100
5. 子どもの教育に関わって学校と地域の連携や協力を深めていくこと	70
6. 住民のニーズや満足度等を把握し、事業を実施していくこと	98
7. 社会教育団体等のボランティア活動を活発にさせたり、その活動を支援したりすること	29
8. 生涯学習を通じて身につけた知識や成果を発揮させる場や機会をつくること	41
9. 郷土の文化財を活用すること	49
10. その他	9

【問 22】湯浅町の生涯学習に係る施策についてのご意見・ご要望・ご提案

- ◇公民館事業 17件 ◇図書館事業 13件 ◇スポーツ事業 11件
◇社会教育・体育施設 23件 ◇情報発信 5件 ◇公演・講演 3件
◇町の施策について 8件 ◇その他 8件

(2) アンケート調査の意見（抜粋）

☆公民館事業について

- ・ 社会人でも参加しやすいように夕方から始まる教室の検討をしてほしい
- ・ 子どもからお年寄りまで一緒にできるようなものも取り入れてほしい
- ・ 湯浅町民でも知らないような湯浅の歴史文化について学ぶ機会を設けてほしい
- ・ 開催事業を増やしてほしい。職員が不足しているのであればボランティア募集してもいいのでは

☆図書館事業について

- ・ 蔵書の充実を図ってほしい
- ・ 大人のための読み聞かせや朗読の機会があればいい
- ・ 読書の楽しさを知るきっかけになるようなイベントを企画してほしい

☆スポーツ事業について

- ・ 年齢に応じたスポーツ大会を実施してほしい
- ・ 高齢化が進み、ちょっと運動する施設があればいい
- ・ 屋内プールの建設を希望

☆その他

- ・ 情報発信不足。発信方法をもっと考えてほしい
- ・ 町全体で盛り上がるようなイベントを実施してほしい
- ・ 地域のつながりを大切にできるまちづくり、若者が希望を持てるまちづくり、活力のある湯浅町をめざして取り組んでほしい

(3) アンケート調査からうかがえること

○アンケートの回収率が70代が最も高く、18～29歳の回収率が最も低い。

○公民館等の生涯学習の講座や教室に参加したいと思われている方が多い。一方で、実施していることを知らないという方も一定数いる。

⇒ 町の広報やチラシだけではなく、ゆあさポートやSNSを活用した情報発信のあり方等を検討する必要がある。

○個人の生涯学習においては、参加型の学習だけでなく、オンライン配信やテレビ等で学習する方が現れてきている。

⇒ スマートフォン等の普及により、人々の情報収集の方法が変化していることから、どなたでもスマートフォン等を日常生活におけるツールとして活用できるよう講座等を展開していく必要がある。

○スポーツ・健康づくりに取り組まれている方が多く、関心度も高い。

⇒ 体育協会等の連携を密にし、気軽に取り組めるスポーツイベントを実施し、健康志向のニーズに応える。

○湯浅に愛着があり、交流したい、地域に貢献したいと考える方がおられる。

⇒ 人と人が出会い、つながりを築く場所も必要である。そこで、地域に貢献したいと考える方を発掘し、事業を拡げていく可能性を見出したい。